

資料 4-1

令和 6 年台風第10号に伴う 大雨による廃棄物処理施設の 被害と復旧等について

神奈川県 資源循環推進課 指導グループ

1 令和6年台風第10号に伴う大雨について

(1) 令和6年台風第10号の神奈川県内における被害等

神奈川県内では、8月29日(木)から30日(金)にかけて、県西側沿岸部を中心に、大雨による被害が発生した。

(2) 神奈川県内における主な被害等

①伊勢原市

一般廃棄物最終処分場の埋立て
地法面の覆土の崩落など

(管理主体は一部事務組合)

②平塚市

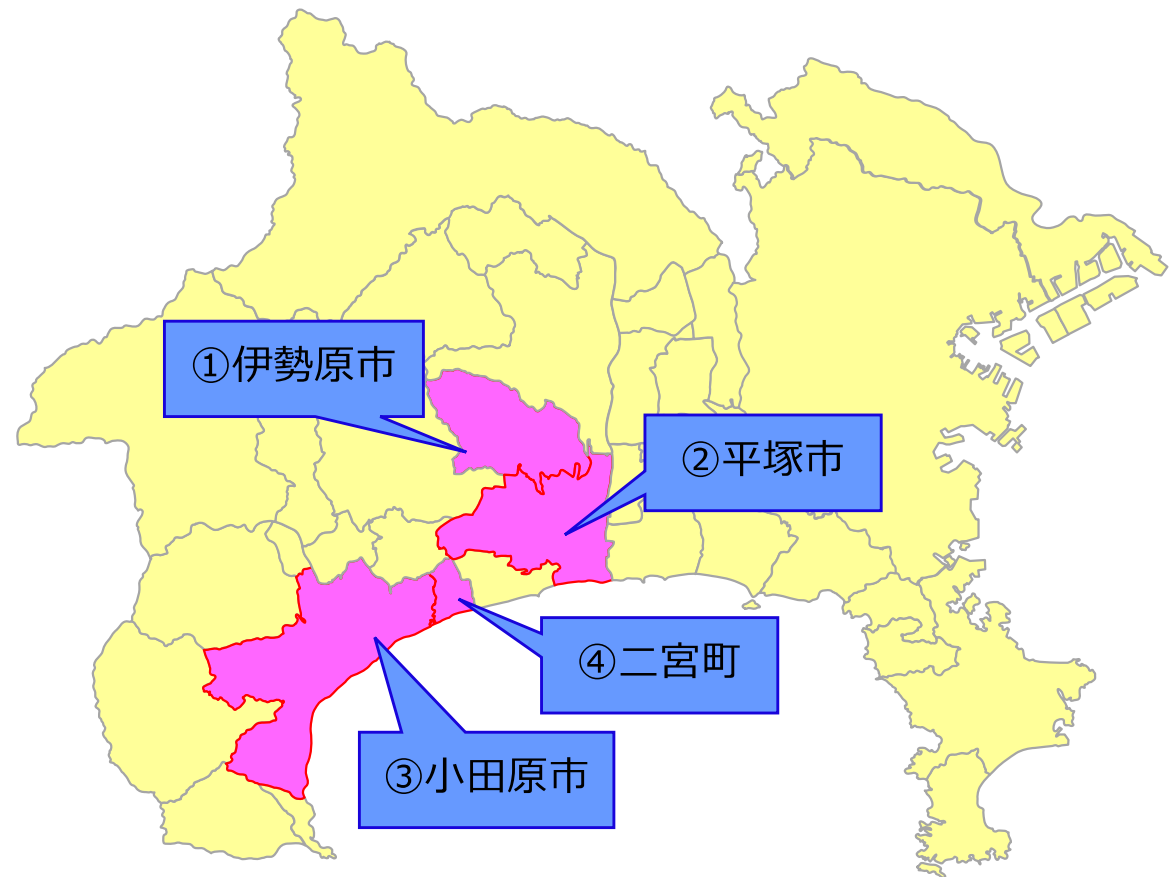
河川氾濫による床上浸水・床下浸水、
土砂崩れによる家屋損壊など

③小田原市

擁壁の崩落による家屋損壊など

④二宮町

河川氾濫による床上・床下浸水など



2 神奈川県・環境省の対応

8/29(木)

9:45 県内市町村等に対して事前連絡（今後、被害状況報告を依頼する場合がある旨）

8/30(金)

13:05 県内市町村等に対して被害状況報告を依頼

14:45 環境省(関東地方環境事務所)より被害状況報告の依頼

18:09 環境省(本省)より事務連絡（仮置き場の確保等）⇒県内市町村等に共有

9/ 2(月)～6(金)

県内の被害状況の集約・環境省への報告 ※9/9(月)以降は適宜報告

9/ 3(火)

環境省（関東地方関東地方環境事務所）と県で現地確認

（平塚市、二宮町の被害状況及び災害廃棄物の処理状況、補助金利用の意向などを確認）

9/3(火)～ 随時

被害のあった市町・一部事務組合に対して、補助金等に対する情報提供・相談対応
（災害廃棄物事務処理マニュアルの共有、補助対象内外の確認等の相談対応など）

10/16(水)

環境省による補助金説明会（スケジュール、災害等報告書作成のポイント等）

11/19(火)～

環境省による被災市町村の災害等報告書の作成等に係る巡回指導

12/20(金)、24(火)

災害査定

3 被災した廃棄物処理施設

(1) 施設の概要

施設名称：栗原一般廃棄物最終処分場

設置主体：秦野市伊勢原市環境衛生組合（構成市：秦野市、伊勢原市）

構造：準好気性埋立

規模：175,000m³(埋立地容量)、16,760m²(埋立面積)

建設年度：平成3～4年度（第1期） 平成9～10年度（第2期）

(2) 被災時の気象状況等

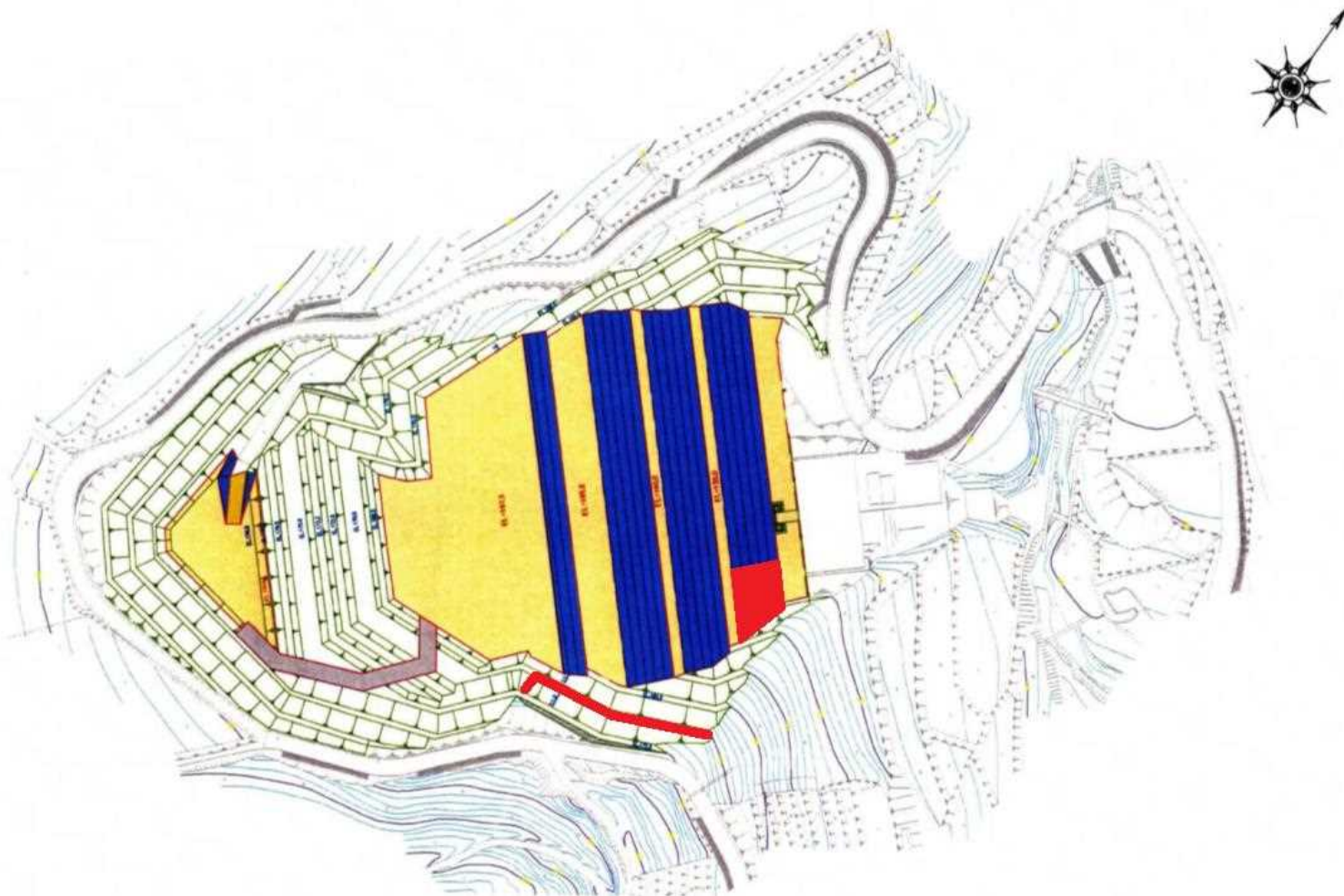
24時間最大雨量 404mm（8/29(木)15:00～8/30(金)14:00）

1時間最大雨量 63mm（8/30(金) 8:00）

4 被害・復旧工事の概要

8/29(木)夜からの雨により、処分場内の覆土の崩落等が発生し、崩落箇所の養生などの応急対応を行った。

また、その後の雨によりさらに崩落する危険性があったため、速やかに復旧工事を行った。
被害額約300万円（工期：9/17(火)～21(土) 随意契約により実施）



4 被害・復旧工事の概要

(1) 埋立地法面の覆土部分の一部崩落

【被災状況】



覆土が約80㎡崩落し、埋め立てた焼却灰が露出

【応急対応】



職員による応急対応(被災以降も降雨の予報のため)

【復旧工事の概要】



伐採・草木除去



覆土・法面形成



張芝(法面補強のための芝シート)

4 被害・復旧工事の概要

(2) 処分場法面の雨水排水路の一部崩落

【被災状況】

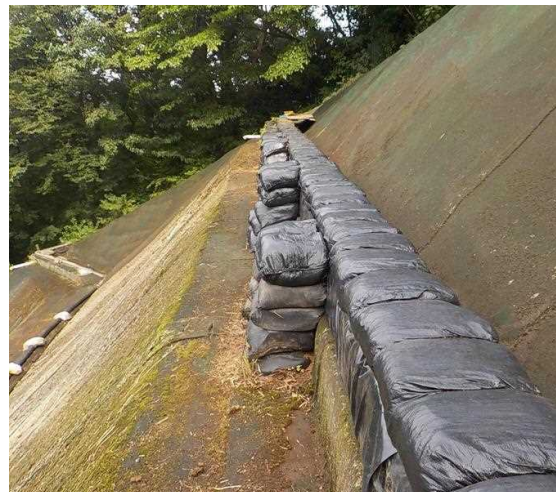


法面の雨水排水路(※)の土のうが約15m崩落。
※埋立場(谷の下部)への雨水流入を防ぐための排水路

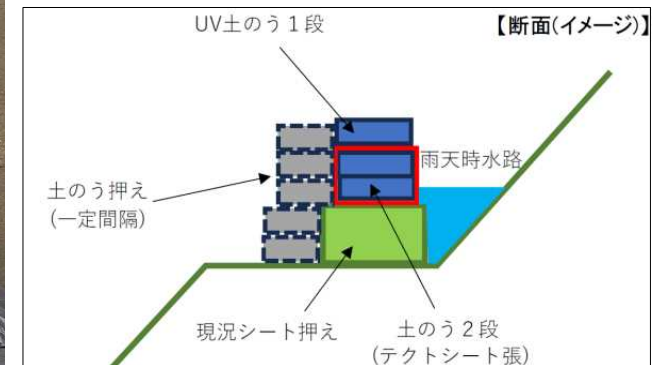
【復旧工事の概要】



土のう積方（土のうを遮水シートで包む）



土のう2段・抑え土のう設置



参考図